

学 校 名	杉並区立方南小学校支援本部
コーディネーター数	3人
ボランティア数	20人

活動の概要

放課後学習支援として、算数と国語の学習支援事業に取り組んでいます。

「算数教室」は、躓きのある児童を対象に、夏休みや冬休みも含めて通年で、ドリル学習を中心に全20名のボランティアスタッフにより、ローテーションを組んで対応しています。

「国語教室」は、毎週火曜日の放課後に、書道、漢字の成り立ち、江戸言葉、熟語の意味の解説などに取り組んでいます。

両教室とも、教員との密接な連携のもと、希望児童及び教員指定の児童も受け入れて取り組んでいます。対象児童は、3年生以上の320人のうち30%に当たる約100人が登録し、安全な学校施設内での取り組みとして、保護者から評価を得ています。

コーディネーターの役割

ボランティアスタッフの確保、地域人材の発掘。

学校（教員）との連絡調整：行事との調整、個別児童の確認

個別児童への対応方法について、学校とボランティアスタッフ間で共有する
年間スケジュール管理

成果の取りまとめ、次年度の準備、計画案の作成

学校の要請を受け、月1回職員会議に参加している

活動上の工夫や配慮等

「国語教室」の書道では、毎回優秀12点を講師役のボランティアスタッフに選定いただき、翌週校内掲示を行っています。一人の児童が、学期に1回以上選定されるよう工夫し、全児童が自信を持てるよう取り組んでいます。

また、「江戸公募展」や俳句、短歌のかな書きにも挑戦して、その意味なども学習しています。

年に1回海外からの留学生を招待して一緒に書道を経験し、異文化交流にも取り組んでいます。

「算数教室」では、苦手な単元を一つずつクリアすることを目標に教材を準備し、クリアした単元プリントは家庭に持ち帰り、確認をお願いしています。

1人の講師役のボランティアスタッフは、児童3～4人に対応しています。

活動の成果や感想（実践を通じた児童・生徒、地域の活動者、学校等の声や反応など）

児童・保護者・家庭：放課後の学習教室は、児童を預かる仕組みとしても、保護者の評価を得ている。また、多くの地域ボランティアスタッフが学校に関わっていることが家庭に浸透している。

地域ボランティアスタッフ：児童との触れ合いの機会が稀であったボランティアスタッフは、児童との関わりに戸惑いもあったが、徐々に関係が作り上げられ、ボランティアスタッフの生きがいになると共に、学校の現状理解と先生方へのリスペクトが進んでいる。

学校：地域の力が学校運営に欠かせないものという認識となってきたことから、先生方の要望や協力が良い関係をつくり、学校自らが地域に開かれているのを実感している。